



ひろうら

茨城町立広浦小学校
学校だより
平成27年7月7日発行
第8号

広浦小ならではの学び

様々な組み合わせでの異学年活動から

経験が違う さすが5年生

7/2 (木) 霞ヶ浦湖上体験 第4, 5学年

5年生の児童は、昨年度1年間、環境についての学習を重ねてきました。霞ヶ浦浄水場の見学、霞ヶ浦や涸沼での水質調査、涸沼川たんけん、霞ヶ浦環境科学センターでの発表などから実感を持った学びをしたり、環境を守るために今の自分にできることなどについても考えたりした1年間でした。

今回、霞ヶ浦湖上体験や霞ヶ浦環境科学センターの方の説明のことば一つ一つをしっかりと受け止め、実に的確に受け答えをしていた5年生でした。「さすがですね。よく分かっていますね。」と何度もほめて頂く場面がありました。自主的な学びや実感を伴った学び、経験は、大きな自信になっていたようでした。

一緒に活動をした4年生も今年1年をかけて、環境についての学習をしていきます。本日7/7は、涸沼の水質調査に出かけました。この様子等について、「朝日小学生新聞」の方の取材がありました。



霞ヶ浦湖上での水質検査の様子

表現が違う さすが6年生

7/3 (金) 介護老人保健施設レイクヒルひぬまでの交流 第5, 6学年

「花の苗を植えているときに、一緒にやっていたおばあちゃんが、『元気だったときには家でもよく花を育てたよ。きょうは、久々にやれてうれしいね』と話してくれました。自分たちがやった小さなことでも、喜んでくれる人がいることがうれしかったです。」

「〇〇が楽しかったです。」だけでなく、人とかかわりから感じたり考えたりしたことが言える6年生。一緒に参加をした5年生にとって、2年目となる6年生の行動やかかわり方、ことば…など、参考になることが多かったようです。



学校で育てた花の苗と一緒に植えて



肩もみとおしゃべり

よさこいソーランを披露



6/26 (金) 音楽のつどい
(小川文化センター アピオス)
全校での発表を終え満足顔の子供達

講師の先生からの講評は「校長室だより(6/28発行)」に掲載してございます。あわせてご覧ください。

小規模校の本校は、様々な場面で異学年と一緒に活動をしています。下の学年にとって上の学年は「〇〇さんみたいになりたいな」「あんなふうに言うとかかるね」と、常に憧れ、模範です。

2学期には、4年生がリーダーとなって活動する1~4年の遠足があります。子供達のアイデアで、このほかにもたくさんの異学年活動が行われそうです。

私たち大人が考える以上に、学びの多い異学年活動です。温かい学びです。



ひろうら

茨城町立広浦小学校
学校だより
平成27年7月15日発行
第9号

朝日小学生新聞に掲載されました



上記紙面の拡大した物を裏面に掲載しています。合わせてご覧ください。



温かい言葉・温かい心 上の新聞記事を見て

友だちが載っているのを見て、「出てるよ（写っているよ）。銀ちゃん、よかったね。」と、友だちに声を掛けていた4年額賀拓光さん。（拓光さんにとっては、当たり前のごとくでしたが）一緒に行った自分は載ってなくても、友だちが掲載されたことを、自分のことのように喜び、素直な言葉で相手に伝えている様子に、聞いていた周りが温かい気持ちになりました。

学校関係者評価委員会

今年度の委員の方々です。

7月8日（水）「学校関係者評価委員会」が開催されました。この会は、保護者や地域の皆様からご意見をいただくことで、よりよい学校をつかっていくことをねらいとしています。参観いただいた授業のを中心にご協議いただきました。次回開催は1月下旬から2月上旬開催を予定しています。ご意見等は、よりよい広浦小学校づくりに役立ててまいります。

- 海老澤正夫さん（前下石地区区長会長）、
- 川又良枝さん（ブライトリージャー）
- 清水正三さん（元中学校長）
- 桃井雅和さん（PTA会長）
- 萩谷智徳さん（明光中学校教頭）
- 清水一雄さん（奨学会長）
- 長洲良男さん（大瀬沼漁業協同組合）
- 田中秀人さん（レイクヒルひぬま事務長）



ひろうら

茨城町立広浦小学校
学校だより
平成27年7月17日発行
第10号



夏休み



よくなったよ」と、2学期に聞かせてくれるのを楽しみにしています。

いよいよ夏休みが始まります。夏休みは、普段の生活では経験できない様々なことにチャレンジできる、そして、子どもたちを心身共に大きく育ててくれる時期です。「〇〇に挑戦したよ」「□□ができる

充実した夏休みにするために、子どもたちが健康で安全な生活が送れますよう、学校でも地域の巡視を行います。保護者や地域の皆様も見守りをお願いいたします。

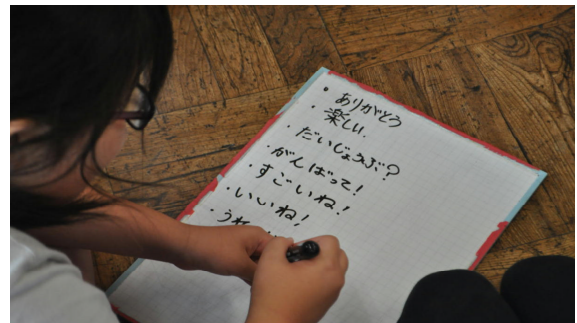
あったかハート集会



7月6日(月)
運営放送委員会の児童による企画

ねらい

- ・互いの人権を守っていくためには、一人一人を大切に人間関係をつくっていかねばならないことを感じる。
- ・人にはそれぞれ、いろいろな思いや考えがあることに気付く。
- ・自分や友達の長所に気付き、自己有用感、自己存在感をもつ。



はじめに、友達からいじめを受け、ひとりぼっちでいる女の子の話のDVDを視聴しました。どの子の表情も真剣でした。その後、縦割り班ごとに、「言われてうれしい言葉」を出し合い、上の写真にあるような

ありがとう いいね だいじょうぶ?
すごいね さすが じょうず

今回は、4年生が中心になって班の話し合いを進めました

などの言葉が出されました。

最後に班ごとにつくったあったかハート標語を紹介いたします。

大収穫! ジャガイモ掘り 7月15日(水)



昨年度末、ブライトリーダーの川又良枝さんに教えていただきながら植えたジャガイモの収穫をしました。コンテナ約10ケースほどの収穫量になりました。持ち帰ったジャガイモの味はいかがでしたか。

- ☆ あかるく 楽しく やさしい 広浦小の子どもたち
- ☆ ありがとう その素直な気持ちで うれしくなれる
- ☆ 優しい声で 大丈夫? そんなひと言がうれしいよ
- ☆ すごいね! いいね!
- ☆ ほめられると 心がとっても あったかい
- ☆ ありがとうが ひびく 優しい 広浦小学校
- ☆ ずっといっしょ あったかハートメッセージ

この標語をつくった翌朝、昇降口付近に掲示したあったかハート標語を読んでいる低学年の子達がいきました。やさしい笑顔で、正に、あったかハートの様子でした。

